

主な活動（居住支援、生活支援、身元保証支援）実績（R8.5.1現在）

令和7年度からの主な活動実績 【居住支援】

居住支援した者	相談者（相談先）	転居又は住居探しの理由	居住支援（住居探し・内覧や入居契約などの同行・引越しの手配など）の概要
家族と疎遠、精神障害、 身体障害、生活保護、60代女性	福祉支援機関	現在の住居の老朽化が激しい	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※家具や家電などSNSなどで最低限の家財を用意する ※入居後も各支援機関と連携しながら電話や訪問をしての見守り ※約7ヶ月をかけて入居の支援をすることができた ※老朽化が激しい実家の処分を依頼される（鍵の預かりなど）
家族と疎遠、精神障害、 身体障害、生活保護、50代女性	入所している施設	約4年の施設から一人暮らしをしたい ※他の居住支援法人では無理だった	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援、相談員や病院などの手配 ※家具や家電などSNSなどで最低限の家財を用意する ※入居後も各支援機関と連携しながら電話や訪問をしての見守り ※約半年をかけて入居の支援をすることができた ※車いす生活のため通院や買い物などの同行支援をする ※緊急時の対応をするため合鍵を預かる
40代女性（子供2人）	本人	夫との生活が耐えられないため	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※難病のお子さんを抱えながらの生活をする物件探しが厳しいなか、何度かの内覧を続けて入居することができた
精神障害、生活保護、 50代男性、前科多数	本人	前の住居を強制退去となったため	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※前の住居での揉めごとなどが度々あるなか、管理会社などに事情をしっかりと説明をして、賃貸物件に入居することができた
生活保護の他国籍の母親と同居、 知的障害、10代男性	支援機関	就職が決まったので、通勤が可能が 住居を探すため	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※家具や家電など無いためSNSなどで最低限の家財を用意する ※定期的に生活費を支給すると共に生活の支援や見守りをする
40代女性（子供3人）	女性の知人	夫との生活が耐えられないため	内覧同行、入居手続き同行 ※愛知県南部で生活をしている母子で、子供の学校の関係で物件探しのエリアが限られ、何度かの内覧を続けて入居することができた
自宅を強制退去、生活保護、 30代男性	賃貸仲介業者	賃貸仲介業者	内覧同行、入居手続き同行、ペット可（小型犬）の物件 ※強制退去から入居までの機関は路上生活を回避するためウィクリーホテルの手配や携帯電話の手配をする ※必要最低限の家具や家電などの家財にあってはつながっている個人の引越業者に搬送と一時保管を依頼する ※小型犬にあっては他の居住支援法人と連携をして入居までの宿泊場所を確保する

生活保護、70代女性、小型犬、 大家から退去を言われている	本人（電話相談）	借家の取り壊しのため	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※長年、借家で生活していたことから古く大きな家具やエアコンなどの家財の処分の手配や売却などについて支援をする
生活保護、50代男性、 心臓系の疾患あり、前科多数	本人（電話相談）	家賃が生活保護の住宅補助内で収まらなくなったため	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※心臓系の疾患により仕事が出来なくなり、生活保護者となったことから現在住んでいる賃貸の家賃が負担となり、生活保護の家賃補助内の賃貸物件への住み替えが必要となったもの
身体的障害者、60代男性	本人（電話相談）	体調が回復したことから、働きながらの独り暮らしを希望	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※車いす生活が必要な体となり、そのため親族の家に同居しながら治療やリハビリを続けたことにより、杖をついたりしての独り暮らしが出来るまで回復し、更に以前住んでいた県外のB型事業所にて働きながらの独立した生活を希望しているなか、1ヶ月以内の期間で条件にあう他県での賃貸物件に入居することができた ※引越しの費用を抑えるため、小型の冷蔵庫や洗濯機や組み立て式のベットなどを弊社の軽バンにて支援をする
身寄りがいない、70代男性	医療、福祉関係者	退院後はアパートに戻るよりも老健に入所する必要性があったため	自宅アパートの階段から転倒し骨折で済んだものの、そのまま退院して階段があるアパートに戻る（帰宅）ことは危険と判断し、病院と包括とのケア会議に参加して、私が老健を探すことになった 本人が入院中に老健への入居手続きのための書類など用意し、更に私が身元保証人として入居をすることになった
70代女性	包括支援センター	同居中の息子から暴言などを受けており、息子から離れた場所で安心して生活を送りたい	内覧同行、入居手続き同行、引越し支援 ※家具や家電など無いためSNSなどで最低限の家財を用意する ※金銭的な悩み（苦しみ）を抱えており、その解決に向けてサポートをしている
被災者、精神障害、60代女性	市議会議員	自宅が火事で全焼し路頭に迷っているので住むところを探して欲しい	内覧同行、入居手続き同行 ※家具や家電など無いためSNSなどで最低限の家財を用意する ※緊急的な食料支援をする ※市議会議員による支援体制が整うまで生活支援や見守りを行う
家族全員が精神的な障害がある家庭	本人（電話相談）	現在、家族で住んでいるアパートの生活環境が悪いため	何件かの物件探しを続けたことで希望する物件があったが、身内などの疎遠状態のため家賃保証審査における緊急連絡先がないことから、私が緊急連絡先となることで家賃保証審査が通り、入居契約をすることが出来た
家族全員が精神的な障害がある家庭	居住支援法人	現在、家族で住んでいる自宅が競売となったため	自宅の競売や家族全員が精神的な障害があることなどから、いくつかの居住支援法人から支援を断られるなか、ある居住支援法人より私（弊社）に居住支援の相談があり、その後家族の世帯主と面談して進めていたところ、相談から約半月以内に入居契約をすることとなった

施設入所中の身寄りがいない70代男性	福祉担当者と本人	ひとりで自由に暮らせる生活がしたい	身寄りがいないなかアパートの階段から転落し入院措置となり、その後介護老人保険施設に入所したものの「ひとりで自由に生活ができる物件を探して欲しい」と相談があり、何度かの面談と内見同行や入居契約の同行をすることにより、退所後も老健とつながる（ケアマネジャーやディサービスなど）場所のアパートに入居することが出来た
故郷を離れ精神的な障害がある20代の男女	社会福祉協議会	生活環境を変えるために利便性がある知らない場所（地域）で生活をした	男性は関西出身、女性は東北出身で、SNSで知り合い落ち着いて生活するために飛騨地方に転居したものの、人間関係などにより精神的な障害を持つようになり、遠く離れた場所（地域）にて、ふたりで落ち着いて生活を送りたいと希望をしていた 岐阜には全く土地勘や知り合いもないことから、私や私の妻にて悩みや心配ごとなどを支援（寄り添い）するために、私（弊社）の近くで物件を探し遠方のため代理で内見などを行い入居契約ができ、更に引越などについても支援をして入居することが出来た
被災者、精神障害、60代女性	本人（直接）	猫と暮らせる部屋（物件）を探して欲しい	自宅が全焼した後に、緊急的に生活をする事が出来る部屋（物件）を確保して安心できる生活を送っていたが、家族同然の猫がいることが判明し、確保した部屋ではペット不可であったことから、早急にペット可の平屋建ての物件を探し、私が緊急連絡先となることで猫と共に新しい部屋にて生活をする事が出来た
身寄りがいない住むところが無くなった70代女性	居住支援法人の代表者	家賃滞納により大家から退去を告げられ、次に住むところが見つからない	仕事はしていたものの、同居していた無職の夫が死去した後は、家賃の支払いや生活が苦しくなり、そのため借家を強制退去となり、次に住む物件を自分や居住支援法人にて探すも厳しく、そのなかで某居住支援法人の代表者から居住支援の依頼を受け、私が緊急連絡先や今後の生活支援などを担うことにより、日頃から関係を築いている大家のアパートに入居することが出来た
身寄りがいない外国（日系2世）の70代女性	居住支援法人の代表者	住むところがなく友人宅に身を寄せていたが、友人宅からの退去も求められている	日系2世で日本では約30年間仕事をしていたが、高齢を理由に退職となり収入も無くなってしまい家賃も払えず退去となり、友人宅に身を寄せることになったものの、友人宅も限界となったため、行政や居住支援法人などに居住支援などの相談をするも解決策がなく、某居住支援法人の代表者から居住支援の依頼を受け、私が緊急連絡先や今後の生活支援などを担うことにより、日頃から関係を築いている大家のアパートに入居することが出来た
以前も居住支援をした前科を有する50代男性	本人	住むところや職を転々とするなか、所持金や生活を苦しくなり、再度の生活保護を受けるために住むところが必要となった	以前にも居住支援をした男性で、居住支援をした物件から自主退去したあとは、住居や職を転々としながら生活をしてきたものの、所持金や生活や就労が厳しくなり、再度、本人から居住支援の相談があった しかし、物件探しや確保などが難航しているなか、日頃からつながって某居住支援法人の代表者に相談した結果、同法人が管理するアパートに入居することが出来た